



明石市コミュニティ・スクールだより
人をつなぎ 未来をつなぐ 明石のコミュニティ・スクール

コミコミスクスク

KOMIKOMISUKUSUKU

明石市教育委員会事務局学校教育課

第3回コミュニティ・スクール研修会速報 社会は（地域・家庭・企業 etc.）はルピコン川の向こう側にいる 学校だけがルピコン川の手前にいる

10月15日（火）、兵庫教育大学小西教授をお招きしての3回シリーズのコミュニティ・スクール自主研修会が終了しました。学校関係者・地域住民・保護者＋行政関係の方に、自主研修という当事者の立場に立って、シリーズで講話・熟議体験を行うという、今後のコミュニティ・スクールの理解を深め、実践していくために必要な要素を取り入れた実験的な研修でしたが今後の研修のあり方の姿が見えたように思います。内容的にはほおぼりすぎ、時間内には収まらずご迷惑をおかけしたところもあり今後改善していきたいと考えています。

小西先生からは毎回コミスクを進めていくためには熱い思いが必要だと伝わってきます。未来の社会を創りだすコミスクの推進に奔走される山口県出身の小西先生には、明治維新をすすめた長州人の熱い血が流れているんだなとったりします。その小西先生が3回の研修の締めくくりとして「社会は（地域・家庭・企業 etc.）はルピコン川に向こう側にいる、学校だけがルピコン川の手前にいる。子どもは学校に来る時だけルピコン川を渡って戻ってくるが、学校が終わるとルピコン川に向こう側に帰っていく」といったことを話されました。私はすごく意味深い話だなと感じました。皆さんはどう受止められますか？

第3回のアンケートを紹介させていただきます。多数共通して書かかれている内容や、部分的に取り上げた内容を紹介しますがご容赦ください。



Q コミュニティ・スクール自主研修会に参加されて感じたこと・考えたことは？

- ・自分の生まれ育った地域・校区で PTA 会長をやらせてもらっていますが、今の校区のことはよくわかっていません。昔と変わらない部分もあるでしょうが、時代の流れで変わってしまった部分もあるかもしれません。また、昔から住む人と新しく住むようになった人との地域・校区の見方についても温度差があるでしょう。そういったことを知り、課題や問題点を共通認識して今後に生かすためにもコミュニティ・スクールが必要なのではないでしょうか。
- ・第3回しか参加できませんでしたが、それでも多くの気づきがありました。個人的にはPTAとしてはコミスクが今後のPTAの希望だと思います。今後もこのような勉強会をよろしくお願いします。
- ・社会的資本（人と人とのつながり）の大切さを地域とともに、学校が呼びかけ続けなくてはならないと改めて感じました。色んな立場の方との熟議する機会はとても楽しく刺激を受けることができました。本校も何とかスタートしましたが、まだまだ具体的な方向性がみえてきません。「これから」が大切ですね！
- ・今日は、最終日での参加で3回の研修すべて参加を達成しました！！とても勉強になりました。ありがとうございます。コミュニティ・スクールに関わらせて頂き、本当に良かったです。子どもたちの為にできる事、もっと考えていきたいです。私も小さな力ですが、教育にたずさわりたいと思います。
- ・教師も地域との協働を重要と考えていることがひしひしと感じました。現在まちづくり協議会のメンバーですが、私たち地域住民が常に子どもの成長を思い役にたてることあるなら参加し、学校と協力していきたい。気力・体力を保つ為にも協力していく。子どもたちはこれからの10年が重要！！何事も熟議が大切であると思いました！！繰り返しくりかえし！！保護者へのアプローチが重要である。校区ごとに研修会を増やすべき！！（地域住民、教師との連携重要）
- ・熟議を通していろいろな考えに触れることができた。今後さらにコミュニティ・スクールを進めていく上で、若手だからこそ出せる意見・考えをしっかりと伝えてよりよいコミュニティ・スクールになるようにしていきたい。またそのためにも地域の方ともしっかりと積極的に関わっていこうと思う。いろいろな例え話を



してくださってわかりやすく、ためになったが、熟議の説明の中にも「時間を守る」とあったので、そこは守って時間内には終わらないのかなと・・・と思った。学校でも子どもたちに時間を守るように教え、これまでの年次研修等も時間をきっちり守って進行されていたのに、自主研修は時間にルーズなんだなと思った。

- 背景や考えの違う人たちがお互いに協力して「納得解」を得るとというのが少しわかったと思いました。「子どもたち」がどう成長していくか、様々な立場からいろんな考えを持ち、協力して、今よりもっと子どもたちの力が身につけられるようになれば良いと思いました。
- 学校の課題や地域や保護者からの苦情を地域とともに考えて、地域も学校の当事者として、学校は地域の当事者として共に「子どもをどのように育み、地域を担える大人にしていくか」を熟議していきたいです。学校をよくすること、自分の子によくなってほしいからこそ学校に期待される。学校と地域の間壁を取り除き、行き来しやすい学校と地域をつくらしていきたいです。
- 自主研修会にはじめて参加しました。グループワークでは話せば話すほど迷いが生まれ、今まで自分の中にあったものが揺らいでいくように感じました。だからこそ熟議が必要で、熟議を重ねていくうちにすっきりとしたものが心に残っていくのだと思いました。
- 3回参加させて頂きました。何度も話を聞くうちに、やはりコミスクしかないのかな？という気持ちになりました。次は新たに一步をどう踏み出していくのか。その勇気が必要なのだろうと思います。熟議と協働を大切にしていきたいです。
- 自分が育ってきた環境と、今現在育っている、育とうとしている子どもたちを取り巻く環境は大きく変わっている。時代の変化に対応しながらも新しいことにチャレンジしていく気持ち、疑問、興味、関心を抱くという大切さをどう伝えていくかが課題だと思いました。
- 本当に3回聞いていても熟議体験してもまだまだと思いました。今日のグループで地域の方が「『大人になって美しい字がかけなかったら恥ずかしいぞ』と、そんな風に人生の先輩として、語ってくれる大人と出会うことができるってすごいことだと思うのでぜひ近い存在になってほしいと思いました。現状をみて、「いろいろ本音トークができる場が気軽にできる場が実現できたらいいな」と。
- 本日(3回目)のみの参加であったが、有意義な時間になった。1回目や2回目には参加できなかったが、その内容である、「今なぜコミスクか?」「Society.5.0」については以前より小西先生の話を知っており、社会の向かう方向や、それに対する「教育」の変化の必要性はしっかり理解している。コミスクは「仕組みづくり」であり、そのために不可欠なことは「熟議」である。熟議により、学校・地域・家庭がパワーアップし、それが負担軽減にもつながる。子どもたちが育つまち、活躍するまちにしていきたい！！
- 地域の代表の方が保護者の方と一緒に熟議に参加することができ、それぞれの立場だけで考えていたことが違う立場の意見を聴くことで、課題に対して、自分なら何ができるかとう当事者意識を生むのだと思います。
- 8割くらいは先生方でしたので大変有意義でした。先生方にとっても地域の人と平場で熟議が体験でき有意義であったのではと思います。是非、毎年定期的に今回のような自主研修会をお願いします。だんだん取り組みが充実してきたら学校の事例発表や、シンポジウムにしてもいいかもしれません。
- 熟議がやっぱり必要だなあと感じた。学校の先生、思い切って地域のものに相談する方向に舵を切ってください。相談相手(力不足)になれないかもしれないが、その難しさは理解できるような気がします。地域の学校がどのような課題を抱えているのかわからないので知りたいという一面もあります。
- 小西先生の話や熟議をしながら、「CS は地域のどこ・だれと連動するとよいのだろう?」と考えました。運営委員会だけではせまく、地域住民とすると広すぎる。そう考えた際に、地域の子供も、大人の学び(生涯学習)を扱う「学び部会」のようなものがまち協内にあると良い連携が図れるのではと感じた。
- 今日初めてお話を聞かせていただき、自分の認識が大変甘かったことを痛感いたしました。ルビコン川の話がうかがい、大変納得がいくきました。確かに学校だけで現状を何とかすることは難しくなっています。学校に地域の方がどんどん入ってくださる状況があり、少しずつ変化しているのではないかと思います。
- 人生100年時代と考えた時にコミスクはとても意義がある。地域をみんなで盛り上げようと考えたら20代から50代の働き盛りの方のサポートも必要ではないかと考えます。コミスクをきっかけとして、仕組みをつくり、地域にかえっていける場所ができれば社会の価値観もかえていく、壮大なスケールのスタートに立っていると思った。

